

高知県感染症発生動向調査（週報）

2013年 第31週 （7月29日～8月4日）

★ お知らせ

夏型感染症 流行中！

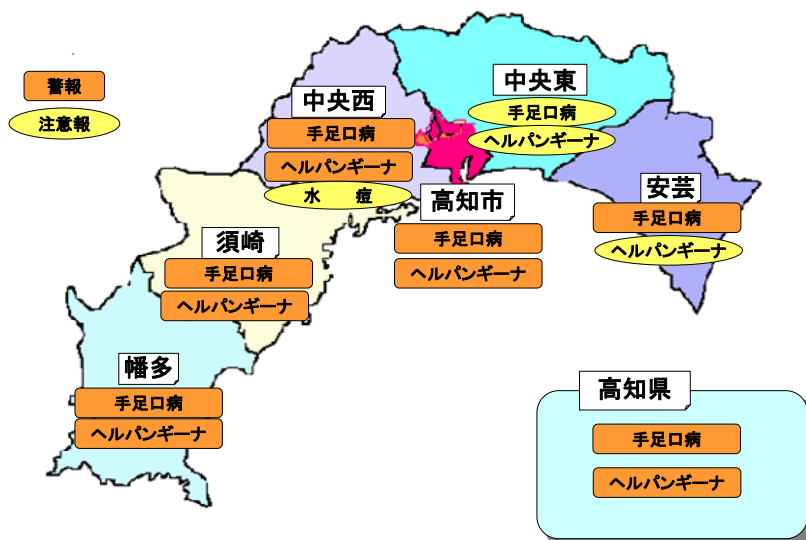
- 手足口病は増加し、ヘルパンギーナは減少したが引き続き警報値！
- 患者の咳や水疱内容物、便などに含まれるウイルスを介して感染！
- 回復後にも約2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがある！
- タオル・コップ等の共用は避けて！
- 外出後、食事の前、トイレの後には手洗いを！

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
手足口病	→	8. 17	高知市、須崎、安芸、中央西で増加し、県内全体及び高知市、須崎、安芸、中央西、幡多で警報値を、中央東では注意報値を超している。
ヘルパンギーナ	↘	7. 03	全体では減少したが、中央西、安芸で増加し、県内全体及び中央西、須崎、高知市、幡多で警報値を、安芸、中央東では注意報値を超している。
感染性胃腸炎	→	2. 63	高知市、安芸で増加したが、全体では減少している。
流行性耳下腺炎	↗	0. 87	須崎、中央東、高知市、幡多で増加している。
水痘	→	0. 83	中央西、安芸、須崎、幡多で増加し、中央西では注意報値を超している。

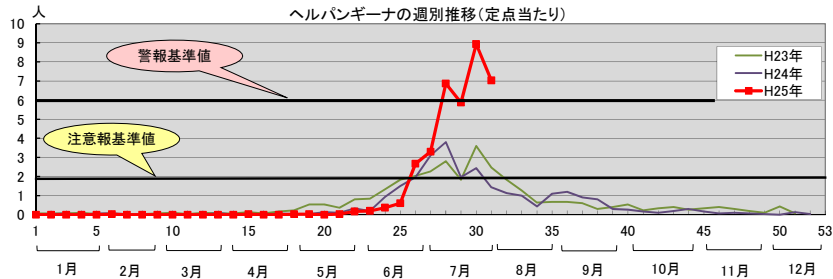
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて

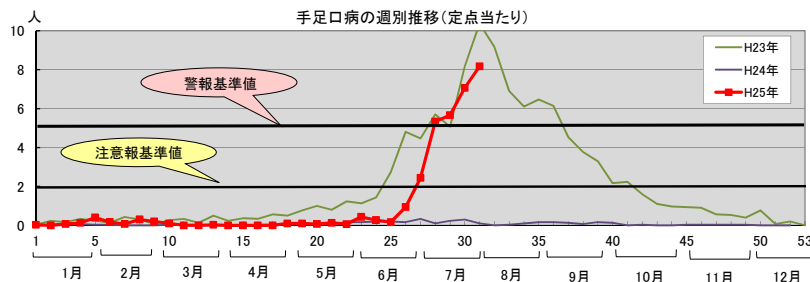
○ヘルパンギーナ：7.03（注意報値：2.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり7.03（前週：8.93）と減少しましたが、引き続き警報値を超えています。地域別にみると、中央西（16.67：前週15.33）で増加し、須崎（13.00：前週14.50）高知市（6.18：前週5.55）幡多（6.00：前週7.00）で減少しましたが警報値を超えています。また、安芸（5.00：前週2.50）では増加し、中央東（3.86：前週6.86）では減少しましたが注意報値を超えています。年齢別にみると患者の73%が3歳以下、16%が4～5歳になっています。病原体定点からは主にCoxsackie virus A8が検出されています。



○手足口病：8.17（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり8.17（前週：7.07）と6週連続増加し、警報値を超えています。地域別にみると、高知市（12.45：前週11.00）須崎（11.50：前週2.50）安芸（9.00：前週3.50）中央西（5.33：前週3.00）で増加し、幡多（5.20：前週7.20）では減少しましたが警報値を超えています。また、中央東（3.57：前週4.86）では引き続き注意報値を超えています。年齢別にみると患者の91%が3歳以下、5%が4～5歳になっています。病原体定点からはエンテロウイルス71が2例検出されているので、髄膜炎などの中枢神経系合併症には注意してください。



★ 病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
31	手足口病	11ヶ月	男	高知市	Coxsackievirus A5
31	手足口病	1	女	高知市	Coxsackievirus A6
31	発熱、殿部、手足に発疹	2	女	中央東	Coxsackievirus A6 Adenovirus C
31	手足口病	1	男	中央東	Coxsackievirus A6
31	手足口病	11ヶ月	女	須崎	Coxsackievirus A6
31	ヘルパンギーナ	1	女	高知市	Coxsackievirus A8
31	ヘルパンギーナ	3	女	高知市	Coxsackievirus A8
31	ヘルパンギーナ	2ヶ月	女	高知市	Coxsackievirus A8
31	ヘルパンギーナ	11ヶ月	女	高知市	Coxsackievirus A8
31	ヘルパンギーナ	6	男	中央東	Coxsackievirus A8
31	無菌性髄膜炎	3	女	幡多	Echovirus 6
31	手足口病	3	女	高知市	Enterovirus 71
31	ヘルパンギーナ	3	女	高知市	Enterovirus 71
31	手足口病	2	男	中央東	Enterovirus 71
31	ヘルパンギーナ	8ヶ月	女	高知市	Rhinovirus
31	百日咳	29	女	高知市	Mycoplasma pneumoniae
31	マイコプラズマ肺炎	3ヶ月	女	中央東	Mycoplasma pneumoniae

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
28	無菌性髄膜炎	0ヶ月	男	高知市	Rhinovirus
29	急性発疹症	1	女	須崎	Human herpes virus 6
30	不明発疹症	4	男	須崎	Human herpes virus 7
30	感染性胃腸炎	5ヶ月	男	高知市	Norovirus GI NT
30	感染性胃腸炎	11	女	須崎	Campylobacter jejuni

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	4	90	40、70歳代(男) 60歳代(女)	中央東
				80歳代(男)	幡 多
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	20歳代(女)	中央東

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報	
中央東	いちほら内科小児科	30w 腸管出血性大腸菌 O-157、VT2 (+) 1例	
	早明浦病院小児科	カンピロバクター腸炎 2例 (5歳男、11歳女)	
	野市中央病院小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1例 (9歳女)	
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 1例 (43歳女) サルモネラ O-7 腸炎 1例 (6歳女) 病原性大腸菌 O-25 腸炎 2例 (12歳男、43歳女) マイコプラズマ肺炎 4例 (4、7歳男、8、12歳女：いずれも LAMP 法陽性) 帯状疱疹 1例 (10歳男)	
		三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (4歳男)
		国立病院機構高知病院小児科	感染性胃腸炎のうちノロウイルス (+) 1例 (7ヶ月女)
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ 1例 (2歳女：県外から帰省) 手足口病 1例 (2歳女：県外から帰省)	
	石黒小児科	帯状疱疹 1例 (6歳男)	
	日高クリニック	帯状疱疹 1例 (80歳女)	
須 崎	もりはた小児科	帯状疱疹 1例 (8歳女) カンピロバクター腸炎 1例 (8歳男) 30w カンピロバクター腸炎 1例 (9歳女)	
幡 多	さたけ小児科	膿痂疹 3例 (1歳男女、3歳男)	

★全国情報

第29週 (7/15～7/21)

1類感染症：報告なし

2類感染症：急性灰白髄炎1例、結核332例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症135例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎2例、重症熱性血小板減少症候群2例、つつが虫病4例、デング熱5例
マラリア1例、レジオネラ症40例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎6例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群19例、侵襲性肺炎球菌感染症5例、
梅毒18例、ジアルジア症2例、破傷風2例、風しん184例、麻しん2例

報告遅れ：腸チフス2例、E型肝炎3例、日本紅斑熱2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、急性脳炎9例

◆腸管出血性大腸菌感染症 (2013年7月24日現在)

2013年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第19週までは20例以下の報告が続き、第20週から増加し始めた。第26週に130例と100例を超え、第27週154例、第28週169例で第29週は135例であった。本年第29週までの累積報告数1,206例は、2000年以降の各年の同週までの累積報告数と比較して2003年に次いで2番目に少ない報告数である(2000年1,300例、2001年1,824例、2002年1,407例、2003年1,015例、2004年1,406例、2005年1,391例、2006年1,321例、2007年1,576例、2008年1,443例、2009年1,369例、2010年1,603例、2011年1,616例、2012年1,264例)。また、患者(有症状者)に絞った累積報告数は833例であり、2007年以降*と比較すると2012年に次いで2番目に少ない(2007年1,059例、2008年983例、2009年895例、2010年1,017例、2011年1,083例、2012年794例)。

第1～29週の累積報告数1,206例について都道府県別にみると、東京都(113例)が最も多く、次いで愛知県(64例)、兵庫県(63例)、神奈川県(58例)、福岡県(58例)の順となっている。

性別では男性524例、女性682例、年齢群別では0～9歳297例(うち5歳未満171例)、20～29歳207例、10～19歳171例の順に多かった。

集団発生として、第26週に兵庫県の保育園(0157 VT1・VT2)、静岡県の幼稚園(0157VT1・VT2)、第27週に埼玉県の保育園(0157 VT1・VT2)、第28週に佐賀県の高齢者福祉施設(0157 VT1)などからそれぞれ報告されている。

腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)は、第29週までに累計23例(男性8例、女性15例)報告されており、年齢群別では0～4歳11例、15～64歳5例、5～9歳4例、65歳以上2例、10～14歳1例であった。死亡例は報告されていない。

毎年本症が数多く発生する夏季に入り、その発生動向には引き続き注意が必要である。食肉の十分な加熱

処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。特に、保育施設における集団発生が多くみられており、日ごろからの注意として、オムツ交換時の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要である。また、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。さらに、過去には動物とのふれあい体験での感染と推定される事例も報告されており、動物との接触後の十分な手洗いにも注意が必要である。

* 腸管出血性大腸菌感染症の届出基準は、2006年4月よりHUS発症例に限って、菌分離されていなくても、便からのVT検出あるいは血清でのO抗原凝集抗体又は抗ペロ毒素抗体の検出によって診断した場合に届出することとなった。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

		第31週 平成25年7月29日(月)～平成25年8月4日(日)										高知県衛生研究所	
定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(30週)	高知県(31週末累計) H24/12/31～H25/8/4	全国(30週末累計) H24/12/31～H25/7/28	
インフル エンザ	インフルエンザ							()	()	139 (0.03)	11,198 (233.29)	1,135,998 (230.66)	
小児科	咽頭結核熱				1		2	3 (0.10)	6 (0.20)	1,811 (0.58)	84 (2.80)	40,232 (12.79)	
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			2		1		3 (0.10)	11 (0.37)	3,547 (1.13)	564 (18.80)	171,903 (54.66)	
	感染性胃腸炎	3	9	60		3	4	79 (2.63)	92 (3.07)	10,492 (3.34)	6,294 (209.80)	660,714 (210.08)	
	水痘	2	2	5	14	1	1	25 (0.83)	24 (0.80)	2,304 (0.73)	1,312 (43.73)	112,703 (35.84)	
	手足口病	18	25	137	16	23	26	245 (8.17)	212 (7.07)	27,773 (8.83)	973 (32.43)	133,802 (42.54)	
	伝染性紅斑							()	()	151 (0.05)	44 (1.47)	6,289 (2.00)	
	突発性発疹			9	1	1	3	14 (0.47)	14 (0.47)	1,963 (0.62)	367 (12.23)	51,716 (16.44)	
	百日咳			1				1 (0.03)	3 (0.10)	43 (0.01)	38 (1.27)	974 (0.31)	
	ヘルパンギーナ	10	27	68	50	26	30	211 (7.03)	268 (8.93)	10,618 (3.38)	1,085 (36.17)	45,284 (14.40)	
	流行性耳下腺炎		10	10		3	3	26 (0.87)	14 (0.47)	882 (0.28)	208 (6.93)	24,621 (7.83)	
	RSウイルス感染症							()	()	831 (0.26)	521 (17.37)	25,996 (8.27)	
	眼科	急性出血性結膜炎							()	()	9 (0.01)	()	476 (0.70)
		流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	()	468 (0.69)	10 (3.33)	11,284 (16.55)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	14 (0.03)	4 (0.57)	257 (0.55)	
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	1 (0.13)	36 (0.08)	7 (1.00)	472 (1.01)	
	マイコプラズマ肺炎			4			1	5 (0.63)	5 (0.63)	196 (0.42)	159 (22.71)	7,407 (15.79)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	22 (0.05)	12 (1.71)	449 (0.96)	
	計 (小児科定点当たり人数)	33 (16.50)	73 (10.44)	298 (26.53)	82 (27.33)	58 (29.00)	70 (13.80)	614 (20.23)			61,299	22,880 (616.29)	2,430,577
前週 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	111 (15.71)	320 (28.83)	68 (22.66)	42 (21.00)	93 (18.20)		650 (21.48)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

		第31週											
定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(30週)	高知県(31週末累計) H24/12/31～H25/8/4	全国(30週末累計) H24/12/31～H25/7/28	
インフル エンザ	インフルエンザ									0.03	233.29	230.66	
小児科	咽頭結核熱				0.33		0.40	0.10	0.20	0.58	2.80	12.79	
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎			0.18		0.50		0.10	0.37	1.13	18.80	54.66	
	感染性胃腸炎	1.50	1.29	5.45		1.50	0.80	2.63	3.07	3.34	209.80	210.08	
	水痘	1.00	0.29	0.45	4.67	0.50	0.20	0.83	0.80	0.73	43.73	35.84	
	手足口病	9.00	3.57	12.45	5.33	11.50	5.20	8.17	7.07	8.83	32.43	42.54	
	伝染性紅斑									0.05	1.47	2.00	
	突発性発疹			0.82	0.33	0.50	0.60	0.47	0.47	0.62	12.23	16.44	
	百日咳			0.09				0.03	0.10	0.01	1.27	0.31	
	ヘルパンギーナ	5.00	3.86	6.18	16.67	13.00	6.00	7.03	8.93	3.38	36.17	14.40	
	流行性耳下腺炎		1.43	0.91		1.50	0.60	0.87	0.47	0.28	6.93	7.83	
	RSウイルス感染症									0.26	17.37	8.27	
	眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.70
		流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.69	3.33	16.55
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	0.57	0.55	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.13	0.08	1.00	1.01	
	マイコプラズマ肺炎			0.80			1.00	0.63	0.63	0.42	22.71	15.79	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.05	1.71	0.96	
	計 (小児科定点当たり人数)	16.50	10.44	26.53	27.33	29.00	13.80	20.23			616.29		
前週 (小児科定点当たり人数)	8.00	15.71	28.83	22.66	21.00	18.20		21.48					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869